

## 資料 3-2

### 公的統計ミクロデータ研究コンソーシアム第 26 回運営委員会 議事録

- 1 日時 令和 5 年 8 月 2 日（水） 13 時 00 分～15 時 00 分
- 2 場所 オンライン会議（ZOOM）
- 3 出席者 （運営委員）南委員長、伊藤副委員長、伊原委員、岡本委員、小松委員、佐藤委員  
高部委員、山形委員、山下委員

#### 4 概要

##### (1) 前回の議事録の確認

第 24 回運営委員会（オンライン）の議事録について、資料 3 に沿って概略を説明し、確認した。

- 既に公開済みだが、再度確認した上で修正等があれば事務局へ連絡して欲しい。

##### (2) 第 1 号議案：運営委員の交代について

運営委員の交代について、資料 2 に沿って説明し、審議・承認した。

- ・ 小松 聖 氏（総務省統計局統計調査部調査企画課 課長）
  - ・ 佐藤 克巳 氏（独立行政法人統計センター 統計技術・提供部 次長）
- ※佐藤氏は第 25 回運営委員会書面審議にて既に承認済みのため報告のみ

##### (3) 第 2 号議案：シンポジウム開催企画案について

公的統計ミクロデータ研究シンポジウム企画案について、資料 4 に沿って説明した。

- 今年度のシンポジウムも 11 月下旬にオンラインで開催予定。午前中にチュートリアルセッション、午後は第 1 セッション、第 2 セッションの計 3 つを予定している。  
これらはまだ案の段階なので、報告者も含め皆様のご意見をいただきたい。

##### <チュートリアルセッションについて>

- チュートリアルセッションでは、公的統計に関するオープンデータの概要の紹介および実践的な利用方法の解説を考えている。具体的には SSDSE や一般用ミクロデータ、合成データの取り組みについての報告を予定している。
- 従前では、統計センターの方などが公的ミクロデータの利用方法などを紹介していた。今回初めて聞きにくる人にとっては、二次利用の制度や手続き方法、分からぬ場合の連絡先などを知ることができるということもある。（現在のプログラム案では）一般用ミクロデータ関連が 2 つ被っているので、差し替えても良いのではないか。
- 動画と違って質疑等もできるので、これまでと同様に統計センターの方に 2 次利用の使い方や手続き的な話を 1 件、また二次利用の裾野を広げるという意味で教育に絡めて SSDSE と合成データで計 3 件とすると良いかと思う。

→要望があれば対応は可能だと思う。ミクロデータ利用の最初の段階でどうやって使ってどのような申請をすればよいのかという相談もあるので、チュートリアルを行う効果はあると考える。担当者とも相談して前向きに考えていきたい。

- 統計局の方で説明しているパターンもある。第1セッションで何を話すかというのも踏まえながら、統計センターと相談しながら検討していきたい。
- 一般用ミクロデータが提供の軌道にのっている、という意味では少し古いデータとなってしまうが、チュートリアルとしては紹介しやすいかと思う。
- チュートリアルで一般用ミクロデータの話が被るのであれば、一般用ミクロデータについて具体的な事例をチュートリアルでお話いただき、合成データについては利活用の新展開に関わってくる話でもあるので、(午後の) 第1セッションで報告していただくのが良いのではないか
- チュートリアル講演は、最初に二次利用の全体像について講演し、あとは SSDSE と一般用ミクロデータで進める。

#### <第1セッションについて>

- 「調査票情報の二次利用の新展開」というテーマで、新しい調査票情報の提供に関する現状や将来展望、調査票情報提供の海外動向などについてご講演いただく予定。
- このセッションについては、そもそも利用者側の調査票情報などに関する要望がきっかけになったのではないかと認識している。調査票の二次利用について利用者の方からどういった要望があるのかというのを講演の中に含めるというのは一案として考えられる。
- 調査票情報の提供については政府で色々と検討しているところだが、リモートアクセスについてはまだ検討の途中段階のため、慎重に話を進めるべきと考える。この部分に関しては持ち帰って検討をしたい。
  - このシンポジウムは総務省統計局や統計センターの方に直接話していただくというのが他にはない重要なところだと思っている。話す内容を（統計局や統計センターに）お任せして、話せる範囲でご紹介いただくのが良いかと思う。
- セッションのタイトルは、合成データの話も入るならば、誤解をさける意味でも「調査票情報の二次的利用の新展開」よりも「公的統計の二次的利用の新展開」にした方が良いのではないか。
  - 「調査票情報」だと限定的な感じもするので、「公的統計」とした方が良いと思う。
  - セッションの内容とタイトルは関わりがあるので、検討をして改めて提案させていただきたい。

#### <第2セッションについて>

- まだ詳細は決まっていないが、これまでシンポジウムで取り上げてなかった研究領域の研究者の方にご登壇いただくのが良いのではないかと考えている。miripo で公開されている利用実績情報から、利用されている調査票情報と利用実績の多い研究者についてまとめた。これを見ながら報告者についての意見を伺いたい。
- miripo の利用実績に名前が挙がっている先生方の中から報告候補者をピックアップするというのは良いと思う。その場合、使われているデータ区分でピックアップするのか、労働経済や医療といった専門分野でピックアップするか、という 2 つの方法がある。

→ 今月にかけて候補者を絞り込んでいけるよう、引き続き検討していく。

- 講演していただく内容は、ミクロデータの実証分析の方法について限定するのか  
→ ミクロデータを利用して研究されている方を想定している。

<その他>

- miripo で公開されているデータ提供状況一覧の中で、業績やどういった論文がでているかは、管理番号欄をクリックしないと表示されない形になっている。別カラムで研究業績の論文が表示されると良いと感じた。
- 公募型共同利用関係で「様々な大規模データ公開におけるプライバシー保護に関する理論の研究」、「公的統計ミクロデータ利活用に関する研究集会」については、本シンポジウムと親和性が高いと思う。同時開催を希望するというほど強い意見ではないが、お互いの情報共有が重要だと感じる。
  - 研究集会の周知は、コンソーシアムのウェブサイトでも行っているが、「プライバシー保護に関する理論の研究」とは、日程調整がうまくいっておらず昨年は離れた日程で開催している。
  - 「公的統計ミクロデータ利活用に関する研究集会」については、統計センターと日程を被らないようにこちらからプログラム情報を提供し、それに合わせて統計センターの方で調整していただいている。
  - まずは(シンポジウムや研究集会の中で)お互いの取り組みを言及したり、紹介したりすると良いと考える。
  - 今年度は他の研究集会と内容や日程について調整を行っていく。
- 会員のメリットの一つとして、コンソーシアム会員からも発表者を募集するという方法もある。
  - 以前も同様の意見があった。前向きに考えていきたい

第 3 号議案：ホームページリニューアル案について 1

コンソーシアム公式ウェブサイトリニューアル案について、資料 5 に沿って説明した。

- 公式ウェブサイトでは、コンソーシアムで実施した新型イベント、動画コンテンツや NewsLetter を発信したりしているが、「アクセスしにくい」「どこにあるか分からない」等の問題がある。また、「入会案内」なども同様の問題を抱えており、リニューアルを検討している。また、「コンソーシアムウェブサイトでオンラインサイト利用による実績・成果が見えるようなページを作ったら良いのではないか」という提案もあった。
- 一般の方が全て閲覧できるウェブサイトとなる予定なのか
  - (案では) 会員のみが閲覧できるようなページは一旦なくなる予定だが、今後、会員向けの新しいコンテンツができれば、会員のみがアクセスできるエリアを作ってサービスを提供することも考えている。

- 利用実績の公表は、独自にコンソーシアムでリストを作る場合、(二次利用の成果公表に関連して) 制度的に問題があるのではないか。コンソーシアムのウェブサイトでは (miripo 掲載の実績ページに) リンクを貼るという方式が適切ではないかと思う。
  - 件数の集計に加え、成果の一部をピックアップして掲載し、そこに miripo のリンクを貼るというイメージ。コンソーシアムのウェブサイトは、miripo 掲載の実績・成果のサマリーをまとめ、詳細については miripo へ誘導する、というような住み分けを考えている。
  - 各研究領域の下にメジャーな論文のリストを表示するイメージ。
  - miripo でのデータの利用実績については申請の際に本人の了承を得て、統計法に基づき公表している。miripo で公表している内容を転写するという場合には確認が必要となる。
  - そのまま転写する、ということはしない。
  - miripo 独自の利用規約というのではないが、e-Stat の利用規約に従っているので、もし (miripo で公開されている内容を) 利用する場合には e-stat の利用規約の確認が必要になる。
- コンソーシアムとしては、(官側と研究者の) 間を取り持つということが重要と考えている。ここまでで出てきた miripo に対する意見などについて、コンソーシアムから改善要望・提案する、という形になると思う。利用実績のページについては、統計情報や調査票ごとにどのくらい使われているかをまとめる、もし可能ならば研究キーワードなどをあげるだけでも研究者には意味がある情報になると思う。
  - 現実的な案だと思う。miripo への誘導を補助するような役割をコンソーシアムのウェブサイトに持たせる形で進めていく。
- スケジュール的には、オンサイトの利用実績部分は実装が間に合わないとしても、その他の部分は時期的には年内にリニューアルしたい。

## 5 報告事項

- (1) 公的統計ミクロデータ研究コンソーシアム評議会議長交代について  
コンソーシアム議長交代について、資料 6 に沿って報告した。  
新議長：喜連川 優 氏 (情報・システム研究機構 機構長)  
※第 13 回評議会(書面審議)にて承認済み
- (2) 次号 NewsLetter(案)について  
次号 NewsLetter 第 4 号について、資料 7 に沿って報告した。  
メインの特集として、「公的統計ミクロデータとデータ教育 II」を予定している。10月初旬に発行予定。
- (3) 統計関連学会連合大会企画セッションについて  
連合大会企画セッションについて、資料 8 に沿って報告した。「公的統計のデータ構造化とミクロデータ分析の展開」ということで、5 件の報告を予定している。

## 6 意見交換

- 他の学会との連携について

今回は、連合大会企画セッションで社会学関係の方に報告してもらうことになった。次の展開としては、数理社会学会でこちらが報告する、さらにその次の展開では、共同で企画セッションを立てたり、東大社研とのシンポジウムが実現できたりすれば、色々な可能性がでてくる。今回の企画セッションを第1歩として今後につながるよう進められれば良いと考える。

→ 数理社会学会での報告や東大社研との話などは、今後議論できればと思う。

以上